



今年はお穂後、高温で経過したため、刈取適期がかなり早まっています！  
刈取り目安をもとに『適期刈取り』で、胴割れ米などの刈り遅れによる品質低下を最小限に抑えましょう。

## 1. 生育状況 (管内の生育観測圃の登熟歩合調査結果 調査日：8月30日)

登熟歩合調査の結果では、各品種とも平年を上回っている。

		m <sup>2</sup> 当たり 株数(株)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本)	m <sup>2</sup> 当たり 穂数(本)	1穂初数 (粒)	m <sup>2</sup> 当たり 初数(粒)	登熟歩合 (%)
まっしぐら 6ヶ所	本年	18.0	83.4	20.6	24.6	430	82.7	35,772	67.3
	平年	18.8	77.8	18.3	20.9	384	79.6	30,805	61.7
青天の霹靂 6ヶ所	本年	19.2	86.7	21.2	18.2	348	89.8	31,198	67.4
	平年	20.8	77.1	18.8	17.7	366	79.1	29,021	61.2
はれわたり 6ヶ所	本年	18.8	81.6	20.1	23.1	430	73.8	31,597	63.9
	前年	18.4	81.7	18.1	20.1	475	81.9	30,081	71.9

## 2. 適期刈取り

積算気温による刈取り始めは、まっしぐらで9月6日頃からと、平年より7日程度早まるものと予想されます。  
ただし、出穂状況の違いにより、水田ごとに登熟の進みにバラつきがあることから、積算気温だけではなく、水田の穂の状態などで総合的に判断し、適期刈取りに努めましょう。

### (1) 積算気温からの刈取り目安 (弘前アメダス) 出穂は管内平均値

品種	出穂後 積算気温	出穂期	刈取り適期
まっしぐら	960~ 1,200	7月29日	9月6日~9月17日
青天の霹靂	900~ 1,100	7月30日	9月3日~9月12日
はれわたり	970~ 1,300	7月30日	9月7日~9月24日

水田全体の黄化程度確認



1穂の青未熟粒の割合



適期  
青未熟粒 10%  
籾黄化 90%

### (2) 実際の水田状況からの刈取目安

水田全体の黄化程度 90%程度が黄化  
1穂の青未熟粒の割合 10%以下まで減少した時期 (青天の霹靂は15%)

#### 刈取りが早いと

青未熟粒の混入が多くなり品質低下になります。

#### 刈遅れになると

胴割粒、茶米、白未熟粒(乳白粒・腹白粒)が増加し、品質の低下につながります。  
特に今年は刈遅れによる発生が予想されるため、適期に刈取りましょう。

「はれわたり」は胴割粒が少ない品種ですが、夏季高温の年は刈取時期が遅くなるほど、胴割粒の発生が増加する傾向があります。適期内のできるだけ早い時期に刈取しましょう。

### (3) 刈取りと乾燥のポイント

- ・雨上がりや朝露などで、籾に水滴が残っている場合は、消えるまで刈取りを控えましょう。
- ・夾雑物(ワラ屑など)は混入しないようにしましょう。
- ・乾燥は、玄米水分が14.0~15.0%を目標に行いましょう。

## 3. 稲わらすき込み

稲わらのすき込みは作土層の増加・養分の補給・土壌の団粒化の効果があります。

稲わらの分解は地温が下がると低下するため、刈取り後、なるべく早く行って下さい。

すき込む際は、腐熟促進材を散布しましょう。

水稻栽培履歴の提出は **収穫が終わり次第**、支店窓口へ提出しましょう